

資料

受験英語 eMaster コース

2012年 新高校3年生用

語彙強化について

eMaster の教材には詳しい語注が付いています。読解学習と並行して、出てきた語句を効率よく、そして正確に覚えられます。

以下、語注がどのような観点から作成されているかを紹介します。

単語には覚え方があります。それは、語呂合わせや覚える順序ということではなく、どこまで理解するかということです。例えば、名詞であれば意味以外にも可算・不可算の概念、そして単・複数形の使い分けなどまで覚えたいですね。

□ **small amounts of ~**: 少量の～ 《a small amount of ~も同じ意味。amount を単数形で使うときと複数形で使う時があるが、意味に差が出るわけではない。～にはいる名詞は、『量』を表す不可算名詞。～が可算名詞の場合、a number of ~を使う》

動詞は、英文法にのっとった使い方があり、その用法に応じて意味も異なります。

□ (something or someone) **appears**: (もの・ひと) が出現する、現れる【動】

【例】 Finally, the rain stopped and the sun **appeared** from behind the clouds.

【用法整理】 X appears ~で「X が～のように見える」という意味でも使います

【例】 At first, the boy **appeared** (to be) dead, but it turned out he was simply sleeping.

すでに千語の単語を覚えている人と、二千語覚えている人では、後者の方が数段たやすくあと千語覚えることができます。その一つの理由は、関連した意味を持つ語の存在です。ある単語を覚える際に、近い意味を持つ語なども一緒に覚えることにより、その語の意味をより正確に覚えることができます。SEG のテキストの語注はこのような観点も大切にしています。

□ An asteroid big enough to cause **significant damage** will ...: significant damage とは、a lot of damage という意味ですが、英語にはこの「多大な」に相当する単語が多くあります。damage を修飾できるものだけでも以下のようなようです。

serious: 【例】 It is important to take action now if the world is to avoid **serious damage** to the environment.

considerable: かなりの、相当な 【例】 There was **considerable damage** and loss of life from the tsunami.

enormous: けた外れに大きい 【例】 We don't usually realize this but cars we drive every day cause **enormous damage** to the environment.

extreme: 極端な 【例】 Andrew McNaughton, a director of the Railtrack company, described the accident: "We could tell it was very close to a head-on collision because of **the extreme damage** caused to the trains," he said after visiting the

crash scene. The trains collided at a rail intersection.

extensive: 広範囲に渡る extend という動詞は「広がる」という意味 【例】 A powerful earthquake rocked Mexico Thursday, killing eight people, and shaking buildings in the capital to their foundations. It was believed to be the most powerful quake to strike Mexico since 1985 when a pair of huge quakes caused **extensive damage** to the capital.

時代背景の中で様々な象徴的な意味を持つ単語が多くあります。高校レベルの文章を理解するためには、この知識がとても大切です。新聞を読む子は国語力があり、他の教科も得意なことが多いといわれていますが、この背景知識が重要な要因です。

□ the **development** of the **embryo**: 胎児の成長 (development は「開発」という意味でも使う)

ヒトの場合、fertilization (受精) - embryo (8 週末まで) - fetus (生まれるまで) という経緯をへる。

【背景知識】 中絶は古くから多くの議論がなされているが、最近では上記の **gene therapy**, **cloning** とからんで、どこからが「人権を持った」人間であるのかが問題になっている。現在でも研究や治療のために、**embryo** の状態にある細胞を使用しており、この様な研究自体を禁止している国もある。

単語の意味に文化的な要因が絡んでいる例を1つ。

まず、a diplomat といえば、外交官を表しますが、以下の文はどういう意味でしょうか？

a. My brother is only 6 years old, but he is a brilliant diplomat. Maybe that's because he is a middle child.

外交官は職業柄、周りと協調して立ち回る能力が要求されます。そのため、まさにそのような能力を持った人を a diplomat と呼びます。

さらに、単語が持つ象徴的意味の例をもう1つ。polar bear といえばシロクマのことですが、この単語を見て何が思い浮かぶかが肝心です。地球温暖化によりシロクマの生態系が脅かされているという現象から、「シロクマを守れ」は、「温暖化ガスから地球を守れ」という意味になっています。

SEG では、リスニング・精読・和訳教材を通じて背景知識を積み上げるプログラムを構築しています。

教材見本（単語編）

見出し語は、精読編やリスニング編の教材に出てくる語句です。文脈の中の使い方まで詳しく学習できます。

【長文読解#1の語注】

- **unfolding** : **unfold** の現在分詞 [(a series of events) **unfold** : (出来事が) 起こる【自動】] 《fold ~は「～を折る」で、unfold ~は「～を開く」であることから、「話や出来事が展開する」という意味が出る。》

【例】 The first few chapters of the book were quite light and amusing, but as the story **unfolded** it became darker and darker. その本の最初の数章は非常に(内容が)軽く、おもしろかったが、話が展開するにつれてどんどん暗くなっていった。

- **X is reduced to ~** : X は～になる [reduce X: (数量・程度などを) 減少させる、縮小する【他動】] が元であるため、規模などが小さくなって、～になるというニュアンス

【例】 He **was reduced to** a skeleton. 彼は(痩せて) 骸骨のようになった。

【例】 Tom's house **was reduced to** ashes in a fire. トムの家が灰になった。

辞書では分かりづらい用法やニュアンスまで踏み込んだ解説。

- **commuting** : 通勤・通学【名】 [commute : 通勤する【自動】]
- Space Shuttle が聞いたこともない難しい名前ではなく、シャトル(定期往復便)という日常の通勤手段を表すものと同じ名前であることが、宇宙開発が少なくとも言葉遣いの面においては、庶民化したと言いたい。
- **miniaturize ~** : ~を小型化する【他動】 [miniaturized : 小型化された【形】]
- **mean** : 「～を意味する」だが、X means Y で、「X が原因で Y になる」という意味でも使われる。Y が that SV... であることが多い。

【例】 One animal that will be seriously affected by global warming is the tree kangaroo. Ecologists estimate that a 2° C increase in temperature will **mean** a loss of 95% of their habitat. 地球温暖化によって深刻な影響をうけるであろう動物の一種が、ツリーカンガルーだ。環境学者は、気温が二度上昇すると、彼らの生息地が 95% 減少するだろうと予測している。

【例】 The decline of birthrate **means** that the country can't produce enough children to sustain its population over time. 出生率の低下が示していることは、その国はこの先人口を維持することに足る子供を産むことができないということだ。

【他の用法】 [X is **meant to do** ~ : X は～するように意図されている]

【例】 Repair work on the southbound line, which **was meant to be completed** by April, is now expected to continue until August. 4月までには完成するはずだった、南行き路線の復旧は、いまや8月まで続くのではないかと目されている。

解説や例文が付いているので、単語単体の意味だけでなく、用法まで理解できます。

覚えるべき箇所を赤くしてありますので、赤下敷きを置くと見えなくなります。

授業で単語テストもあります。

構文・和訳について

構文・和訳編の使い方 英文和訳問題対策には、「構文の把握」「語彙の知識」「訳出の技法」の3つの観点からアプローチする必要があります。1～2月と春期講習で重要構文を集中特訓します。

予習として： テキスト収録の英文を全て注意深く読み、分からない単語は辞書を使い、指定箇所（下線部、指示のない場合は全文）の日本語訳を解答用紙に書いてください。テキストは何度も使えるように、書き込みをしないようにしましょう。

授業では： 各英文の構造を解説し、「構文の把握」に必要な知識を説明するとともに、より分かりやすい訳文を書くための「訳出の技法」を実例に則して解説します。

復習として： 英文を読み直し、構文が的確に把握できるかどうかを確認すること。予習段階での読み方が誤っていた英文については、もう一度必ず自力で訳文を書くようにしてください。

年間計画

1月～春期の12回で全ての重要構文を解説・演習します。

1月～2月

- ・後置修飾（関係詞節、分詞句、不定詞句、前置詞句など）
- ・that節、wh-節
- ・無生物主語
- ・名詞構文
- ・同格
- ・倒置

春期講習

- ・無生物主語・名詞構文・倒置応用
- ・比較
- ・Itを使った構文
- ・関係詞節応用
- ・仮定法

4月～

- ・4月以降は、授業内での解説指導ではなく、【添削課題】指導になります。

チューターの授業補助制度：

eMasterの高校部では、チューターが教室で講師の補助をします。
高3クラスでは、主として『構文・和訳』編の宿題を添削します。この制度のメリットは、宿題がその日に返却されることです。

チューターの多くは卒業生で、文・理・医と様々な分野の学部で勉強しています。生徒だった頃の様子、勉強の仕方、大学での生活などの質問もできます。

教材見本（構文・和訳編）

[2] Pull open the glass door, feel the rush of cool air, study the backlit color photographs above the counter, place your order, hand over a few dollars, watch teenagers in uniforms pushing various buttons, and moments later take hold of a plastic tray full of food wrapped in colored paper and cardboard. (2)The whole experience of buying fast food has become so routine, and so thoroughly unexceptional, that it is now taken for granted, like brushing your teeth or stopping for a red light. It has become a social custom as American as a small, rectangular, hand-held, frozen, and reheated apple pie.

文構造の捉え方、間違いやすい点、和訳のコツなどを授業で解説します。

(2) ファーストフードを買うという経験全体は、とても日常的で、とても普通のことになり、それ（経験）はいまや歯を磨いたり、赤信号で止まったりのように、当たり前のもと考えられている。

【基準】

主語①NP1= The whole experience, [of buying fast food]: 経験全体+（その経験の中身として）ファーストフードを買うという

構造②NP1 has become so ~ that [sv2 it is...]: NP1は、とても～になっているので、SV2です。

③～=so routine, and so thoroughly unexceptional, : とても日常的で、いたって普通のことになり、

④SV2= (that) it is now taken for granted : 《it は主語を指し、その（経験）は、主語（経験）の前のものと考えられている

⑤, like brushing your teeth or stopping for a red light : 《当たり前、歯を磨いたり、赤信号で止まったりのように

【診断】① of doing ~ が、前の名詞の中身を表す

- routine : いつもの【形】《名詞も同形》
- thoroughly : 徹底的に【副】《副詞も同形》
- unexceptional : 例外的でない【形】《exceptional : 例外的な》
- X is as American as an apple pie : Xは典型的にアメリカらしい【形】

X is as American as an apple pie が「Xは典型的にアメリカらしい」という意味の成句。アメリカといえば、apple pie であるという考えが元だが、本文ではそれを as American as a small, rectangular, hand-held, frozen, and reheated apple pie と言うことにより、その apple pie 自体が、ホームメイドでなく、Mで売っているアップルパイになってしまっている様を表している。

- rectangular : 長方形の【形】
- handheld : 手に持てる(程小さい)【形】
- reheated : 温めなおされた【形】
- interplay : 相互作用【名】
- revealing : (何かを)明らかにする【形】
- on any given day : 任意のいつの日でも

模範解答の提示だけでなく、基準を明確に解説してあります。自分の解答のどこが、どのように足りないのかを細かくチェックできます。

語注を使って、単語もしっかり覚えましょう。

診断#2 Itを使った強調構文

間違えた構造に対する更なる
説明と、演習問題。

【Check Point】

It is で始まる構文には次のパターンがある。

- | | |
|------------------------|---------------|
| (i) 既出の内容を it でうけたもの | (It を「それ」と訳す) |
| (ii) 非人称の it が主語になったもの | (It は訳さない) |
| (iii) 形式主語構文 | (It は訳さない) |
| (iv) 強調構文 | (It は訳さない) |

(iv)強調構文とは： センテンスの各要素(述語動詞を除く)のうち、特に強調したい要素を It is(/ was) と that(/ which / who など)ではさみ、残りを that の後に置くというもの。和訳をする際には、強調される要素を後回しにして訳するのが一般的。

Tom / broke / the vase / on purpose / yesterday.

- It was **Tom** who broke the vase on purpose yesterday.
「昨日わざとその花瓶を割ったのはトムでした」
- It is **the vase** that Tom broke on purpose yesterday.
「トムが昨日わざと割ったのはその花瓶です」
- It was **on purpose** that Tom broke the vase yesterday.
「トムが昨日その花瓶を割ったのはわざとでした」
- It was **yesterday** that Tom broke the vase on purpose.
「トムがその花瓶をわざと割ったのは昨日のことでした」

Exercise 1. (1)(3)(4)の各文の it の用法は上の(i)~(iv)のどれに当たるか答えなさい。その上で、それぞれ日本語に直しなさい。

..... “When?” and “Where?” rather than, “No, thank you.” However, the medical profession is changing as many patients are becoming better educated about their conditions. (3)It is now common practice in many parts of the world to get a second doctor’s opinion about how to treat an illness. Even so, (4)in the traditional doctor-patient relationship, it is the doctor who has most, if not all, of the authority.

説明を聞くだけでなく、慣れるまで
何度も練習することが最も大切！

精読について

長文読解・総合編

春期講習、4～6月、夏期講習前・後期の授業(計26回)を通じて、長文読解の読み方および、総合問題の解答の技術を上げる学習をします。春期講習では、小説・エッセイと説明文を中心に勉強します。

予習として: テキスト収録の英文をすべて注意深く読み、設問に解答してきてください。解答は解答用紙に書いてください。

授業では: 文章の流れのつかみ方、話の情景や登場人物の気持ちの読み取り方を解説します。さらに、入試で求められる、正しい解答の作り方を説明します。

復習として: 文章を再度読み、不明な点があれば講師に質問してください。語彙や表現などは、各回整理し、きちんと覚えましょう。設問は、予習段階で間違えてしまったものを中心に、再度解答を自分で書いてください。

教材見本 (長文読解編)

Track #24

[1] (1)C 付属の CD を使って復習します。 process. ...I

[4] A second reason we fail to listen has nothing to do with laziness, distractions, or lack of skills. Too often we are striving for an appearance of unity and harmony at the expense of openness and dialogue. We have meetings to “discuss” possible changes; we encourage “brainstorming” among our staff. But then we subtly silence those who agree with our ideas. We cultivate the illusion of consensus. In fact we shut out most ideas that are not in harmony with our own.

[5] We do this because (3)we equate consensus with total agreement, and view resistance as a problem that must be silenced or overcome. Resistance that has surfaced is one of the greatest gifts a manager can be given. Poorly handled conflict causes problems; conflict that is managed well can create opportunities.

文章の流れのつかみ方を学習します。
αとβで教材の難易度が異なります。

設問は、論理的な理解を鍛える
ものが主です。
日本語での表現力もつき、解
答作成の力が鍛えられます。

【設問】

問4 第四段落に書かれている、私たちが他人の意見に耳を傾けるのに失敗するもう一つの理由を日本語で述べなさい。

問5 下線部③we equate consensus with total agreement とあるが consensus と total agreement の相違を本文の内容に照らして日本語で説明しなさい。

解答・解説プリント見本

[4] A second reason we fail to listen has nothing to do with laziness, distractions, or lack of skills. Too often we are striving for **an appearance of unity and harmony** at the expense of openness and dialogue. We have meetings to “discuss” possible changes; we encourage “brainstorming” among our staff. But then we subtly silence the critics and support only those who agree with our ideas. We cultivate the image of being listeners, but in fact we shut out most ideas that are not in harmony with our own.

• A second reason: too often we are striving for _____
at the expense of _____

We silence _____ and support _____

教材の全ての問題に対し、詳しい解説プリントが付きます。

模範解答や語句の意味を写すことに気をとられることなく、授業内容に集中できます。

復習時や、欠席しても模範解答の確認ができます。

や調和を求めようとしているのである。私たちは可能な変更を「議論」するために会議を開く。私たちは社員間の「ブレーストーミング」を推奨する。しかし、私たちは目立たぬよう巧みに批判的意見を言う者たちを黙らせ、自分の考えに賛成する人々だけを支持しているのである。私たちは聴き手であるというイメージを育ててはいるが、実際のところは、自分たちの考えと調和しない考えの多くを閉め出しているのである。

詳しい語注が付きます。

語彙強化編の見本を参照ください。

問4 第四段落に書かれている、私たちが他人の意見に耳を傾けるのに失敗するもう一つの理由を日本語で述べなさい。(20)

見かけ上の団結や調和を重んじるあまりに、自分と意見の合わない人の話を聞かないから。

【基準】

①該当箇所は、Too often we are striving for **an appearance of unity and harmony** at the expense of openness and dialogue. (6)

②we are striving for an appearance of unity (7)

③at the expense of openness and dialogue: 透明性(率直さ)と対話 + を犠牲にして 具体的な内容としては最後の文の、in fact we shut out most ideas that are not in harmony with our own を使う。(7)

模範解答の提示だけでなく、基準を明確に解説してあるので、復習する際に自分の解答のどこが、どのように足りないのかを細かくチェックできます。

問5 下線部(3)we equate consensus with total agreement とあるが consensus と total agreement の相違を本文の内容に照らして日本語で説明しなさい。(10)

consensus は反対意見を述べ合った上で得られる合意であるのに対して、total agreement は完全に意見が一致すること。

【基準】 ①consensus の説明は第6段落。(5) ②total agreement は第4・5段落の内容をまとめると良いが、語の意味自体からも分かる。反対意見を黙殺・排除・抑圧してまでも、皆が同じ意見であるという体面を保つというニュアンスを含めても良い。(5)

解答用紙見本

問4 第四段落に書かれている、私たちが他人の意見に耳を傾けるのに失敗するもう一つの理由を日本語で述べなさい。

我々は、自分の考えと一致しない

大抵の考えを排除してしまうから。

この説明を求められています。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

本設問においては、「消す」の方が良いです。

解答用紙に答えを書き、授業を受けたあと、講師に提出します。

自己採点した答案を講師が入念にチェックします。

速読説明文編

400~500 語程度の比較的シンプルな内容の説明文を使い、情報をすばやく、的確にまとめる練習をします。リスニング演習をかねます。

予習は：基本的に必要ありません。

授業では：講師の指示に従って、タスクをこなしていきます。解答は解答用紙に書きましょう。

復習として：文章を再度読み、不明な点があれば講師に質問してください。語彙や表現などは、各回整理し、きちんと覚えましょう。

速読説明文：

長文読解・総合編は予習を前提としています。各自のペースに合わせてじっくり予習できるというメリットがあります。

速読説明文は、教室で時間内に解答するというタイム・プレッシャーをかけた学習をします。

リスニングについて

通常期の授業時間は1回3時間半ですが、講習期は3時間です。そのため、リスニングは、速読説明文の中に含まれます。

英作文について

教材見本（英作文基礎表現）編

第1講 《名詞節》

接続詞 + SV が『動詞や前置詞の目的語』、または『主語』として使われる構文、つまり【名詞節】を伴う英作文の練習をしましょう。

《標準レベル》

- (1) 鈴木先生は、昨年故郷の札幌に引っ越されたと聞きました。(日本女子 理)
- (2) ()内に指定されている語を用いて、次の日本文を英語にしてください。(日本 医)
- (a) 残念ながら彼は癌で亡くなりました。(regret)

春まで【基礎表現編】では、使える表現を増やします。

解答・解説 見本

(1) I heard that Mr. Suzuki moved back to his hometown, Sapporo, last year.

【解説】

- ①「～だそうです」なども、I heard that SV...と表現する。(うわさを聞いたのが、最近のことなら I hear that SV...でもほぼ同じ意味)
- ②[move to ~: ~へ引っ越す]が基本で、元いたところへ引っ越す場合 backを、今いる所からいなくなる場合 away を付け足す。
- ③「故郷の札幌」は、to Sapporo, which is his hometown と説明調にしてもよい。

(2) I regret to say that he died of cancer.

【解説】

- ①相手にそれを伝えることに気が向かない時に使う表現です。say that SV...は、tell you that SV...や inform you that SV...でも可。
- ②[die of ~: <病気などで>死ぬ] [die from ~: <怪我などで>死ぬ]という用法の違いがあると言われているが、実際の使い分けは結構曖昧。
- ③[pass away (of ~): お亡くなりになる]も使える。

模範解答を覚えるだけでなく、注意すべき表現や、英作する時のコツを詳しく解説します。

もちろん、講師が添削します。